

授業科目

韓国語I [黄 仁祚]

| | | | | |
|---------------|------|-----|-------|-----|
| 担当教員名 黄 仁祚 | 対象学年 | 1・2 | 対象学科 | 全学科 |
| | 開講時期 | 後期 | 必修・選択 | 選択 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 |

ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ○ |

授業の概要

この講義では韓国語の基礎と韓国の文化について学ぶ。韓国語で自己紹介と挨拶などの簡単な会話と韓国語を表記するアルファベットであるハングルの読み書きを学習する。基本的にはテキストを中心に進めるが、韓国の音楽やドラマ、そして文化なども紹介し、韓国に対する理解を高める。

授業の目的

韓国語の文字であるハングルの読み書き、正確な発音を身につけるとともに、挨拶や自己紹介などの簡単な会話ができることを目標とする。

学習目標

- 1 ハングルの読み書きができる。
- 2 基本的な語彙や文章を見て理解できる。
- 3 挨拶、家族紹介、道を聞くなどの簡単な意思疎通ができる。

授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | 学習方法・学習課題・備考 | 担当教員 |
|----|------------------------------|-------------------|------|
| 1 | ガイダンス、 第0課 韓国語とハングル | 講義（韓国語の仕組みと自己紹介） | 黄 仁祚 |
| 2 | 第1課 韓国語の基本母音 | 講義（韓国語の基本母音 10個） | 黄 仁祚 |
| 3 | 第2課 韓国語の基本子音 | 講義（基本子音 平音1） | 黄 仁祚 |
| 4 | 第2課 韓国語の基本子音 | 講義（基本子音 平音2） | 黄 仁祚 |
| 5 | 第2課 韓国語の基本子音 第4課 韓国語の合成子音 | 講義（激音、濃音） | 黄 仁祚 |
| 6 | 第3課 韓国語の合成母音 | 講義（韓国語の合成母音 11個） | 黄 仁祚 |
| 7 | 第5課 パッチム（終声） | 講義（パッチムのグループを覚える） | 黄 仁祚 |
| 8 | 第6課 連音化 | 講義（終声の初声化） | 黄 仁祚 |
| 9 | 文字を中心とした確認を行う | 復習と確認 | 黄 仁祚 |
| 10 | 第7課「こんにちは。私は日本人です。」 | 講義（私は～です） | 黄 仁祚 |
| 11 | 第7課「こんにちは。私は日本人です。」 | 講義（あなたは～ですか） | 黄 仁祚 |
| 12 | 第8課「これは何ですか」 | 講義（指示代名詞・漢数字） | 黄 仁祚 |
| 13 | 第8課「これは何ですか」 | 講義（～ではありません） | 黄 仁祚 |
| 14 | 第8課「学校はどこにありますか」 | 講義（～が～にあります・固有数字） | 黄 仁祚 |
| 15 | 第8課「学校はどこにありますか」 | 講義（位置関係） | 黄 仁祚 |

使用図書

| 使用図書 | 書名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 | 価格 | その他 |
|--------|-------------|------------|-------|-------|----------|-----|
| 教科書 | 教養韓国語初級 | 金智賢 | 朝日出版社 | 2015年 | 2,300円+税 | |
| 参考書 | 最新チャレンジ!韓国語 | 金順玉、阪堂 千津子 | 白水社 | 2014年 | 2,300円+税 | |
| | おはよう韓国語 1 | 崔柄珠 | 朝日出版社 | 2014年 | 2,400円+税 | |
| その他の資料 | | | | | | |

評価方法

中間試験（40%）、期末試験（60%）

履修上の留意点

- 1 授業は発音・会話練習においてペア活動が多いため、学生達の積極的な参加が望ましい。
- 2 CDを活用しながら習った単語や文章を朗読すること。

オフィスアワー・連絡先

授業内容の質問・相談がある学生は、所属学科・学年・学籍番号・氏名・用件を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへご連絡ください。